

3月

## 新着図書

## リラの花咲くけものみち

著者名：藤岡 陽子  
出版者：光文社

リクエスト  
ありがとうございます

幼い頃に母を亡くし、父が再婚した継母とうまくいかず不登校になった岸本聡里。愛犬だけが心の支えだった聡里は、祖母に引き取られペットたちと暮らすうち、獣医師を志すように。北農大学獣医学類に入学すると、慣れない寮生活が始まった。面倒見のよい先輩、気難しいルームメイト、志をともしにする同級生らに囲まれ、学業や動物病院でのアルバイトに奮闘する日々。伴侶動物の専門医を目指していた聡里だが、馬や牛など経済動物の医師のあり方を目の当たりにし、「生きること」について考えさせられることに―北海道の地で、自らの人生を変えてゆく少女の姿を描いた感動作！

## ようこそ、ヒュナム洞書店へ

著者名：ファンボルム  
出版者：集英社

リクエスト  
ありがとうございます

ソウル市内の住宅街にできた『ヒュナム洞書店』。会社を辞めたヨンジュは、追いつめられたかのようにその店を立ち上げた。書店にやってくるのは、就活に失敗したアルバイトのバリスタ・ミンジュン、夫の愚痴をこぼすコーヒー業者のジミ、無気力な高校生ミンチョルとその母ミンチョルオンマ、ネットでブログが炎上した作家のスウ…。それぞれに悩みを抱えたふつうの人々が、今日もヒュナム洞書店で出会う。ネットの電子出版プロジェクトから瞬く間に人気を博した、本と書店が人をつなぐ物語。

## やめるな外科医

著者名：中山 祐次郎  
出版者：幻冬舎

リクエスト  
ありがとうございます

雨野隆治は三十歳の外科医。受け持ち患者が増え、大きな手術も任されるようになった。友人の癌患者・向日葵は相変わらず明るく隆治を振り回すが、病状が進行しているのは明らかだった。ある夜、難しい手術を終えて後輩と飲みに行った隆治に、病院から緊急連絡が入り…。現役外科医が生と死の現場を圧倒的リアリティで描く人気シリーズ第四弾。

## ブラック・ショーマンと覚醒する女たち

著者名：東野 圭吾  
出版者：光文社

亡き夫から莫大な遺産を相続した女性の前に絶縁したはずの兄が現れ、「あんたは偽者だ」といいだす。女性は一笑に付すが、一部始終を聞いていた元マジシャンのマスターは驚くべき謎解きを披露する。果たして嘘をついているのはどちらなのか―。謎に包まれたパー『トラップハンド』のマスターと、彼の華麗なる魔術によって変貌を遂げていく女性たちの物語。

長生きは小さな習慣の積み重ね 92歳、現役看護師の  
治る力

著者名：川嶋 みどり  
出版者：幻冬舎

リクエスト  
ありがとうございます

健康とは肉体ではなく、日々の暮らしが健やかであるということ。病があっても、不自由があっても、当たり前毎日を生きる―日本のナイチンゲールが伝える“手あて”の奇跡。ピンピンキラリで老いを迎え討つ。

## 外科医、島へ

著者名：中山 祐次郎  
出版者：幻冬舎

半年の任期で離島の診療所に派遣された、三一歳の外科医・雨野隆治。島ではあらゆる病気を診なければならず、自分の未熟さを思い知る。東の間の息抜きを楽しんだ夏祭りの夜に、駐在所の警官から電話が。それは竹藪で見つかった身元不明の死体を検死してほしいという依頼だった―。現役外科医が生と死の現場をリアルに描く、シリーズ第六弾。

## ある閉ざされた雪の山荘で

著者名：東野 圭吾  
出版者：講談社

俳優志願の男女7名が演じた殺人劇の結末は豪雪に見舞われ孤立した山荘という設定で、早春の乗鞍高原のペンションに集まった俳優志願の若き男女7名。演技のはずの殺人劇の中で仲間が消え、恐怖の結末が！

## 寿町のひとびと

著者名：山田 清機  
出版者：朝日新聞出版

横浜の一等地にある「ハマのドヤ街・寿町」。ここは異域か、最後の砦か。6年を超える取材で、わずか300m四方ほどの区画の中に120軒ものドヤ(簡易宿泊所)が轟めく町の姿を描き出したノンフィクション。“文庫版のための新話 寿町ニューウェイブ”も新たに収録。

3月

## 新着図書

## 変な家 2

著者名:雨穴  
出版者:飛鳥新社

フリーライターの「筆者」と設計士・栗原のコンビが、新たな謎に挑む間取りミステリー第2弾。

## 最後はなぜかうまくいくイタリア人

著者名:宮嶋 勲  
出版者:日本経済新聞出版社

アポの時間は努力目標。嫌なことは後回しでよい。一度にふたつのことはしない。商談より食事が大切。それでも、結果が出るのはなぜー？私たち日本人とは対極のイタリア人の国民性を、著者が体験したエピソードとともに紹介。本書を読めば、小さな悩み事にクヨクヨするのがどうでもよくなります。